

新津植物資料室年報の発刊にあたって

新津市の丘陵地は、恵まれた自然のシンボルとして市民のみならず近郊住民にも親しまれている。新津市文化振興財団では、丘陵地の保全・活用を図り、自然に恵まれてきた地域の文化を継承するため、丘陵地の自然・歴史・生活文化等を森林文化・里山文化として幅広く調査・研究を進めている。

こうした中で、新津市が前新潟大学教授石澤進氏より36万点にも及ぶ植物標本の寄託を受けたことを契機に、当財団では新津地域学園内に新津植物資料室（積雪地域植物研究所）を開設し、植物標本の分類作業を進め、新津地域における植物分布の研究を進めることとした。

さらに、石澤氏の植物標本が国内でも有数の積雪地帯である新潟県内全体を対象としたものであることから、資料室では植物資料等の収集保管を図りながら積雪地帯の植物研究を進める拠点としても機能していきたいと考えている。

『新津植物資料室年報』の発刊は、資料の蓄積の一端を紹介するとともに、将来的には研究成果を広く公表する冊子として発展させることを目指している。

2001年度は、新津地域の植物に関する情報の一部「分布上顕著な新津の植物(1)」と積雪地域における植物の新しい知見「新潟県植物分布追加資料(1)」、あわせて2001年度の「新津植物資料室出版目録」及び新津植物資料室に寄贈された図書・雑誌・文献の目録を掲載した。寄贈いただいた資料等は必要とする方々への参考に供していく予定である。

今後、新津植物資料室の活動に関する情報を年報でお知らせしながら、多くの皆様からのご協力をお願いしたいと考えている。

2002年3月

(財)新津市文化振興財団

理事長 湯 田 幸 永